

照屋敏子 沖縄独立を夢見た伝説の女傑。

てるやとしこ

21ヶ条要求・1915 = 沖縄の特異な漁師町糸満で、玉城傳七・カミの長女に生まれる。4つ上に兄梅吉。

本格政党内閣1918 = 3歳：両親がブラジルへ移民、母は船中で死去。兄とともに母方の祖母に預けられ、以後、孤児として育つ。

原敬首相暗殺1921 = 6歳：

水平社結成・1922 = 7歳：糸満尋常小学校に入学。父が疲弊しきって帰国したが、まもなく病を得て死去。この年、**パラオの首都に委任統治のための南洋庁が開設される。**

護憲三派圧勝1924 = **9歳**：戦後恐慌で、**沖縄は世に言うソレツ地獄となり、魚売りをはじめる。**

共産党事件・1928 = 13歳：糸満尋常小学校卒業。

満州事変・1931 = 16歳：**初恋の人についてセレベス島へ駆落ちするも失恋して沖縄の帰るが、南洋への夢を抱く契機となり、旅費をためては南洋諸島を往来、黒檀のステッキなどを仕入れて、個人貿易。**

国際連盟脱退1933 = **18歳**：

帝人疑獄事件1934 = 19歳：**パラオにいた時、小学時代の憧れ恩師照屋林蔵が来訪、話に同情させられ結婚、**

林蔵は父照屋林願が沖縄県水産会を設立して会長を務める那覇士族の家柄で、

二二六事件・1936 = 21歳：夫には、すでに前妻との間に2男があり、女癖の悪いのに悩まされるも、男子(照屋家三男)を出産、

日中戦争始・1937 = 22歳：

健保+総動員 1938 = 23歳：夫林蔵がサイパンへ迎えに来て、

第二次大戦始1939 = 24歳：

三男、誕生直後の長女を連れて、**那覇の、自らの育ちからは別世界のようなお屋敷の照屋家に入る。珍味を分らず処分して義父に怒られ、自ら料亭で料理修業。夫の給料の少なさと女遊びに、保険の外交、反物等売って生計を立てる。夫が県庁の社寺兵事課に採用され召集令状発行に従事するうち、夫が自ら志願して海軍入りしたのを、漢那少将に直談判して取り消させ、照屋家の面目を丸潰し、四男を出産。夫は(日本水産)那覇工場長となる。**

大政翼賛会・1940 = 25歳

日米開戦・1941 = 26歳：

年金+総武装 1944 = 29歳：

敗戦・1945 = 30歳：

新憲法公布・1946 = 31歳：

義父が死去。**10・10那覇大空襲で照屋家も焼失、鹿児島湯元温泉に疎開、さらに熊本に転居し、稲作。この間、米軍上陸で沖縄全土が壊滅し、米軍政が敷かれるなか、福岡市高砂町に移り住む。先妻の子照屋家次男が死去。米軍政府が沖縄中央政府となり、さらに沖縄民政府となる。*実兄の帰還情報を得るために博多の沖縄県人収容所へ行って、同胞の無残な死を目の当たりにし、戦後の生き方が決定づけられる。夫が福岡県知事の依頼で沖縄出身者による漁業団結成。自らも収容所の復員者を集めて(沖ノ島漁業団)を結成。公的支援もあって、瞬く間に福岡漁業界の女親分、"海の女王"となる。九州物産展に乗込み、また、毎日新聞の福岡総局にグルクンを持込み、不当価格を訴え、公道価格改定に成功。評判を聞きつけ、公職追放中の火野葦平が来訪、のちにいくつかの作品に結実させている。**

三大事件・1949 = 34歳：**沖縄で米軍基地建設始まる。順風満帆だったところ、キティ台風で持ち船6隻を失い、根本博元中将の仕事の支援していた夫が台湾で腸チフスに罹り、帰国後急死。**

朝鮮戦争始・1950 = 35歳

沖縄で知事及び議会議員選挙実施、米軍政府は琉球列島米国民政府(USCAR)と改称、長官にマッカーサーが

就任。さらに、**沖縄式漁法全面禁止となり、失業状態となる。官に裏切られ、"沖縄独立"が信念に。**

独立回復・1951 = **36歳**：

沖縄は日本独立とともに本土から切り離され、群島議会が日本復帰要請決議、琉球臨時中央政府が発足。沖縄で第一回琉球立法院議員選挙があり、琉球政府発足。**不遇をかこつなか、日本最良のマライの大金持ちが日本人の漁業指導者を求めていると聞き、(沖ノ島漁業団)解散とともに、配下の漁夫に声をかけ、公職追放中の火野葦平が来訪、のちにいくつかの作品に結実させている。**

メデー事件・1952 = 37歳

沖縄で第一回祖国復帰県民総決起大会が開かれる。米民政府が土地収用令を公布し、土地強制収容始まる。

TV放送始・1953 = 38歳

沖縄で第一回祖国復帰県民総決起大会が開かれる。米民政府が土地収用令を公布し、土地強制収容始まる。

自衛隊発足・1954 = 39歳

米大統領アイゼンハワーが沖縄を無期限に管理する'発言。

55年体制始・1955 = 40歳

軍用地問題調査団(ブライス団長)来沖。**よつやくマライ政府から入国許可。**

国連加盟・1956 = 41歳

沖縄でブライス勧告に反対、島ぐるみ闘争に発展。**現地で華僑と合併会社(春光水産)を起こし、漁業団長となつて、南太平洋で操業指揮。行き詰まっていた日本の水産業界を開拓と称賛と注目を浴びるが、**

なべ底不況・1957 = 42歳

マラヤ連邦独立で、操業権を失い、合併事業(春光水産)は破綻、無一文となるも屈せず、

イスタントラーメン・1958 = 43歳

***たまたまシンガポールに来た沖縄の女性文化人視察団の助力を得て、13年ぶりに那覇へ引揚げると、持ちかえった全財産ワニ革バッグ3点があつという間に捌けたことから、シンガポールの元日本兵と連絡をとつて、ワニ革・宝石など輸入販売する(クロコデルストア)を設立。奇跡の復活を遂げ、再び南洋通い。**

美智子妃・1959 = 44歳

雑誌(婦人公論)の連載企画(日本・新おんな系図)のため、沖縄に訪れた大宅壮一の取材に応じる。

安保闘争・1960 = **45歳**：

祖国復帰協議会結成。米大統領アイゼンハワー来沖。**店の支配人として迎えた金城嘉信と長女が結婚、**

イイタイ病始・1961 = 46歳

沖縄で初めてサンゴ入札を開催。**初孫が誕生したが、店内の事故で死去、深い傷となる。**

全国総合計画1962 = 47歳

嘉手納に米軍輸送機墜落。

TV宇宙船始1963 = 48歳

{クロコデルストア}を国際通り牧志に移転。初めて三階建てのビルを購入し、繁盛を極める

東京リトル・1964 = 49歳

珊瑚の国際入札に参加。オリンピックメダル沖縄地区販売代理店となる。糸満市真栄里湯原に1万坪の土地

を入手。沖縄独立の夢を託し、プランクトンの研究を始める。雑誌(婦人公論)の文化講演会で、円地文子・石原慎太郎とともに、沖縄に来訪した石井好子と運命的出会いをし、以後没するまで親交。

大学紛争始・1965 = 50歳

那覇市繁多川に約500坪の土地を購入、マッシュルーム菌を台湾より入手し、試験栽培を始めも、挫折。

いざなぎ景気1966 = 51歳

糸満に農水産研究所を設立。そこでクロダイ、ボラ、車エビの養殖と同時にメロン栽培も始める。養殖池のそばに13棟のビニールハウス建設。真栄里入り口にレストラン(海の里)を開店。すでに歯車噛み合わなくなっていた娘夫婦は独立、息子も激しい衝突を経て離れて行き、孤独のなか酒浸りになって行く一方、

美濃部都知事1967 = 52歳

鯉の養殖、水上レストランを始め、鯉料理、メロンを販売以降、無謀とも思える事業拡大に邁進、ついに高等弁務官のパーティに招待され、その主役にもなる。

霞ヶ関ビル・1968 = 53歳

初の首席公選行われる。**本格的なメロン栽培に成功。**

全共闘・1969 = **54歳**：

佐藤ニクソン会談で72年返還決まる。**車エビ養殖始め増殖に成功。復帰前夜、独自の沖縄独立論を展開。**

大阪万博・1970 = 55歳

初の国会議員選挙実施。コザで暴動起こる。**大阪万博に、メロン出荷を狙うも、害虫理由に移出不可。**

ドルショック・1971 = 56歳

復帰前に週刊誌のインタビューを受ける。**影響を受けた他のメロン栽培者からも非難集中して、自らはメロン栽培を断念したが、山中貞則が動いてくれて移出禁止は解かれ、結果として救いの神となった。**

沖縄返還・1972 = 57歳

施政権返還され沖縄県となる。**復帰直前に、ドル・金・円交換を考えた記念メダル(琉球通宝)発売。**

石油ショック1973 = 58歳

若夏国体開催。

角栄金脈辞任1974 = 59歳

車エビ養殖漁業免許を取得。

ケアンール事件1975 = 60歳

国際海洋博覧会開催、海洋博産相次ぐ。**{琉球新報}講演会に、{金宝堂}社長として、自らの仕事の話。**

成田衝突・1978 = **63歳**：

ワシントン条約保護法制定を受けて、アカウミガメ増殖を研究。小笠原より32種類、132匹の亀を購入。

革新大敗北・1979 = 64歳

ソ連原潜、沖縄近海で炎上。**アオウミガメの人工孵化に成功。**

貿易摩擦問題1980 = 65歳

復帰十周年に、十二支の純金お守りを販売。菓子キビが科学技術長官賞創意工夫功労賞。インタビューなど

中曽根内閣・1982 = 67歳

で、**沖縄に核シeltersと発言する。**

ダイヤロード 1983 = 68歳

スピリリナ試験培養始め、"スピリリナゴールド"を発売開始したが、子宮癌となり、一旦は回復するも、

転移して、**那覇市内の病院で、没した。**

1984 = 69歳